

# 長野の林業

平成30年5月10日発行  
長野の林業編集委員会

## No.340

もくじ



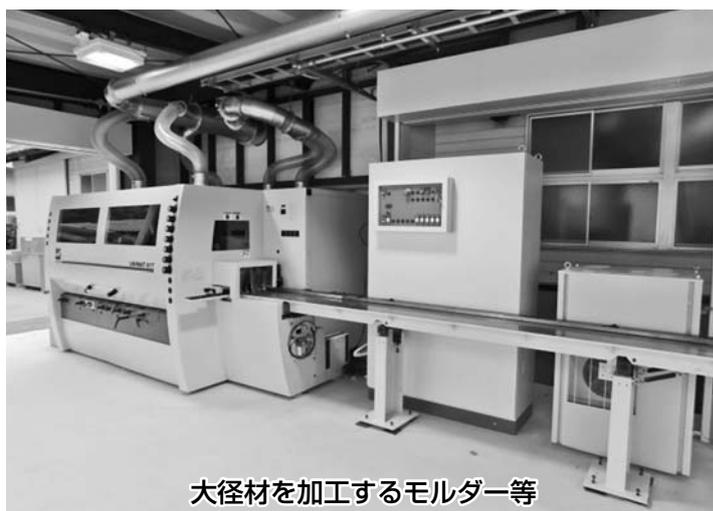
<b>特集</b>	平成30年度の中部森林管理局の取組	2
	防災月間……山地災害に備える	4
	成熟した森林資源を活かすための施設整備……長野県林業総合センター	5
	県森連だより	6
	長野県の木材市況	8



新たに建設した木材長期荷重試験棟



クリーブ試験機



大径材を加工するモルダー等

大径化し充実しつつある「信州カラマツ」の更なる利用開発を図るため、今まで、当センターでは対応できなかった試験等に対応する施設整備を行い、新しい構造材の開発時に必要な性能評価試験が実施可能となりました。併せて、大径材に対応した木材計測装置等も整備し、高齢化が進む県内人工林から生産される大径A材丸太の利用開発に取り組んでいきます。

なお、6月19日に当所で開催を予定している研究成果発表会の際に、施設の見学を予定しておりますので、ご期待いただければ幸いです。【長野県林業総合センター：関連記事は5面へ掲載】

# 林野庁中部森林管理局 平成三十年度の取組

長野県内の国有林は、県土面積百三十六万haのうち十七%(三十七万ha)を占めており、このうち人工林面積が約三割弱(二十七%)を占めています。

県内の森林資源が充実するなか、中部森林管理局では、林業の成長産業化に貢献すべく、伐採から造林までを一体的に行う伐採・造林一貫作業システムの実施により、地拵えコストの縮減や下刈り回数縮減を図るなど、造林・保育の低コスト化を進めています。

また、水源の涵養<sup>かんよう</sup>や自然環境の保全などに十分配慮しながら森林整備を行い、生産される木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

加えて、長野県内の国有林は、地形が急峻で多数の断層が分布する脆弱な地質構造帯にあり、活火山も存在することから、山地災害が発生するリスクの高い地域といえます。中部森林管理局では災害発生時の対応策として、災害規模を早急に把握するとともに、地方自治体等の関係機関と連携した被災状況の収集・伝達や復旧対策の検討・実施など、迅速な災害対応に努めています。

更に、近年増加するニホンジカによる食害に対処するため、植栽木や高山植物を保護する防護柵の設置を進めており、生息調査、市町村等へ



機械地拵え

のくくりワナの貸出、委託捕獲等を各地の協議会や猟友会、捕獲事業者等と連携して実施しています。

## 平成三十年度の主要事業量

長野県内の国有林における新植付面積は八十四ha、間伐面積は二千八百三十四haを計画しています。

収穫量は、主伐が十一万六千㎡(平成二十九年設計画量・十一万四千㎡)、間伐が

四十二万六千㎡(平成二十九年設計画量・三十九万九千㎡)を計画しています。

林道の新設は、総延長四・五kmを計画しています。

治山事業は、溪間工が三十七基、山腹工が十四ha、地すべり防止工が二百一十haを計画しています。

## 平成三十年度の重要な取組や新たな試み

### ☆森林施業の効率化・低コスト化の推進

主伐時に発生する末木枝条等のD材について、木質バイオマス発電所への販売や機械地拵えを実施することにより、造林にかかるコストの縮減に取り組みます。

また、ドローン、地上型レーザースカナやデジタルレーザーコンパスといった新たな機器を試行的に活用し、事業の実施に必要な各種調査の効率化を推進します。



生息域を拡大するニホンジカ(木曾)

☆A材のブランド化の推進

昨年五月に発表した「信州プレミアムカラマツ」については、長野県が予定している強度試験に協力するなど、品質・性能の明確化や製品のブランド化に向けて連携して取り組みます。

☆地域ぐるみでのニホンジカ捕獲の推進

ニホンジカ対策について、平成二十八年度は中部森林管理局で約三千四百頭を捕獲していますが、シカの生息範囲の広域化や捕獲従事者が減少するなか、地域ぐるみで捕獲の取組を進めていくことが重要です。これまでの取組に加え、今年度より新たに国有林の各種事業の請負事業者等に対し、捕獲取組への協力を要請します。



信州プレミアムカラマツ

具体的には、国有林の事業地周辺や通勤経路でのくくりワナによる捕獲の実施や、設置したワナの見回りと通報を試行的に行い、地域ぐるみでニホンジカの捕獲を推進します。

☆山地災害対応能力の強化

昨年五月の飯山市における土石流災害では、市からの要請を受け、県、市、専門家と合同で、ヘリコプターを使用した被災状況調査を実施しま



ドローンの活用

した。

今後も、大規模な山地災害が発生した際は国有林の有無にかかわらず、初動段階において、県や市町村等との合同によるヘリコプターでの広域的な調査、被災自治体への「山地災害対応チーム(MDSAT/CHUBU(エムデーサットチュウブ))」の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。

☆「里山など身近な国有林散策ルートマップ」の改訂

地域住民に都市近郊にある里山などの国有林をより身近に感じてもらうことを目的として、レクリエーションの森等において気軽に散策が楽しめる箇所の情報発信や、平成二十五年に作成しました「里山など身近な国有林散策ルートマップ」の改定を行います。

☆広報の強化

国有林を観光資源として活用した地域振興に貢献すべく今年三月より局の広報誌「中部の森林」において、国有林内の見どころや、翌月に予定される行事・イベント等の情報の掲載を開始しました。併せて、メールマガジン、局ホームページを通じた情報発信の強化を進めます。

【平成三十年度中部森林管理局の取組】詳しくはこちら  
<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/policy/business/sigoto/outline/index.html>



ヘリコプターを使った被災状況調査

編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

- ☆今月号から、中部森林管理局管内の国有林の見どころやイベント情報を、いち早くお知らせするコーナー「〇月の見どころ聴きどころ」を新設しました。
- ☆国有林には、インスタ映える場所も多いので、是非現地を訪れてみてください。また、ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)
- ☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。
- ◎ご投稿には、氏名またはニックネーム、掲載月、整理番号(4月なら①～⑥のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。

広報誌「中部の森林」より

# 山地災害に備える

日本では、毎年2,000箇所もの山地災害が発生し、多くの被害をもたらしています。日本で山地災害が多く発生するのは、地形や気候条件が山地災害を起こしやすい特性を持っているからです。私たちが日ごろから、山地災害の危険と隣り合わせに暮らしていることを認識しておかなければなりません。

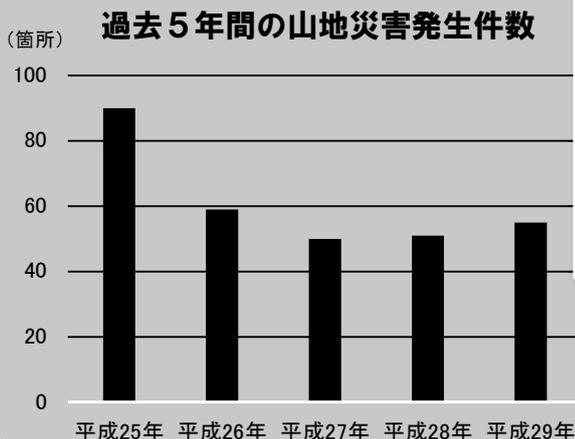


平成29年5月融雪災害  
飯山市 井出川

## 山地災害防止キャンペーン

5月20日 ~ 6月30日

山地災害が多いのは、これから始まる梅雨の季節です。そこで、国、都道府県、市町村では毎年5月20日～6月30日に山地災害防止キャンペーンを全国的に展開し、山地災害危険地区の周知やパトロール、山地災害に備える広報活動、防災訓練などを行っています。



家の裏山などのような身近な森林の状況を把握することは、山地災害から身を守る方法のひとつです。災害に備えるためにも、まず、身近な森林を知ることから始めてみませんか。

# 成熟した森林資源を活かすための施設整備

長野県林業総合センターでは、長野県が高齢級のカラマツとマツタケ資源全国一であることを活かすため、高齢級カラマツとマツタケを研究開発の柱に据えています。

高齢級カラマツの利用拡大とマツタケなどの高級きのこ栽培を加速させるため、平成二十八年度補正予算の地方創生拠点整備交付金三億一千七百万余を活用して、平成二十九年度に必要な研究施設の整備を行い、年度末に無事施設整備が完了しました。

今回の施設整備では高齢級のカラマツを梁・桁などの構造材として使えるような新製品開発を進めるため、長期の強度性能を調べるクリープ試験機をはじめ多くの試験機を導入しました。

また、試験機から得られた測定データを一元的に管理するための管理室では、共同研究者らとデータの解析を行うためのスクリーンなども設置され、長野県産のアカマツを床板に張り直した。

施設整備が終了したことで、高齢級のカラマツを活かした製品開発にむけ、新年度早々から試験を開始しました。現在は本格的な稼働に向けて試験機の調整



スクリーンも設置された管理室



苗木生産の設備



ガラス温室

を行っており、できるだけ早く本格的な研究開発を進めていく予定です。

さらに今回の施設整備

では、高齢級カラマツを利用するために皆伐した森林で、新たなカラマツを植えるためのカラマツ苗木生産に向けた試験設備を育林部の苗畑施設内に追加したほか、マツタケの人工栽培に向けた試みとして、マツタケ菌感染苗木の生産を加速させるガラス温室の設置なども行いました。

長野県林業総合センターでは、これらの施設設備を活用した試験研究を積極的に進めてまいります。

【林業総合センター指導部】



クリープ試験の様子



**日々の作業の  
安全向上のために  
長野県森連労働安全  
衛生推進大会等開催**

長野県森連では4月21日(土)に中信木材センターもくりゆう館(安曇野市)において労働安全衛生推進大会等を開催しました。

**労働安全衛生推進大会**

役員が一堂に会し42名が参加して、森林組合綱領唱和の後、高田専務理事による挨拶が行われました。

次に、林業・木材製造業労働災害防止協会の林材業防災防止専門調査員の塚原昭雄氏を講師として「職場の熱中症予防等」について講演をいただきました。塚原講師からは、熱中症による業種別・時間帯別の死傷者数の推移や、暑さ指数(WBGT)の把握をはじめとした熱中症対策の重要性について解説をしていただきました。

\*暑さ指数(WBGT)は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標

で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。



**森林管理認証(COC認証)  
の教育・研修会**

安全衛生推進大会に引き続き、森林管理認証(COC認証)の教育・研修会を行いました。

この教育・研修会は、森林組合連合会・東信木材センター協同組合連合会が、SGEC(緑の認証会議)判定会議で、森林認証の流通・加工部門のCOC認証を取得し、COC認証事業体として認証木材の流通・加工への対応を行う

ことに伴って開催されたものです。長野県内の認証取得森林や認証取得事業者の確認、①COC作業手順書の再確認、②認証書の再確認、③認証取得者である供給者と顧客の再確認、④納品書(入荷)の再確認、⑤納品書(出荷)の再確認について教育・研修が行われました。

**長野県森連環境保全活動**

続く長野県森連環境保全活動では、CSR活動(企業が社会的責任を果たして社会を豊かにしていくための活動)の一環として中信木材センター周辺及びセンターと県道321号線を結ぶ道の環境美化(クリーン活動)を行いました。また今後増えるであろう降雨に備



**伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!**

**地産池消のエネルギー**

- 間伐材・道路支障木解体木材
- 原料木(根株・枝葉・廃木材等)
- 用途に応じたサイズに破砕(0~50mm)
- バイオマス発電用燃料
- 吹付用基盤材(長野県特肥309号)

至飯綱スキー場

看板

お山の発電所

至浅川・長野市街地

一般廃棄物処分業許可・長野市50006号

電子マネー決済対応 ISO 140001:2004

**宮澤木材産業株式会社**

環境事業部 木材リサイクルセンター

**TEL.239-3260**

長野市中曽根3646-1 FAX.239-3252

受付時間/8:00~17:00 定休日/日・祝祭日

本社/長野市中曽根2188-5 TEL.239-0588

**廃木材を100% 電力にリサイクル!!**

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail [kankyuu2@mwwi.co.jp](mailto:kankyuu2@mwwi.co.jp)

え、センター内の排水施設の点検・整備を行いました。

長野県森連では、地域の皆様への感謝を込めて今後もこのような地域貢献活動を続けてまいります。

**長野県協同組合連絡会通常総会**  
〜持続可能な地域のよりよい〜  
くらし・仕事づくり

4月3日(火)、J A長野県ビル(長野市)にて、第48回長野県協同組合連絡会通常総会が開催されました。

総会は、企業組合労協ながのの代表理事青木健氏より挨拶が行われた後、議事が執り行われました。



第1号議案・平成29年度事業報告並びに収支決算の承認について

て、第2号議案・平成30年度事業計画並びに収支予算の決定について、第3号議案・負担金の賦課・徴収方法について、第4号議案・平成30年度役員を選任についてそれぞれ審議の上、原案通り承認されました。

総会終了後は、日本協同組合連携機構(JCA)、協同組合連携部長の前田健喜氏による「協同組合の連携強化にむけて」をテーマにJCAの設立の経緯からその機能、事業計画などについて講演が行われました。

**【講演概要】**

●日本協同組合連絡協議会が協同組合間の連携等を目的として設立されていた。

●貧富・機会の格差拡大や地域・生活を支える社会の力の弱体化など協同組合を取り巻く情勢が変化

●協同組合が今まで以上に地域・都道府県・全国で連携を強化し、持続可能な地域のよりよいくらし・仕事づくりに取り組んでいくことが必要とされる。

●新たな組織として日本協同組合連携機構を設立。

●「協同組合間連携の推進」、「政

策提言・広報の実施」、「教育・調査・研究」等を事業としていく。

**1分でわかる森林組合**  
2018

**第1回 森林組合とは①**

森林組合が法律の制度として発足したのは、明治40年の森林法全面改正の際、新たに森林組合の規定が設けられたことによります。

以来、行政と連携して植林・育林、地域林業の協業化に取組むとともに作業班の組織化と木材・林産物の系統販売体制を築いてきました。今日、造林・保育の約7割、国産材供給の約4割を担うなど森林整備、林業労働力の確保育成、木材供給において中心的な役割を果たし、山村の活性化、定住条件整備に寄与してきました。

長野県の系統組織は現在、18の森林組合と1連合会により構成されており、組合員8万5千人、組合員所有森林面積45万2千haであり、組合員数では鹿児島県に次いで全国2位、所有面積では北海道、岩手県、岐阜県につき全国4位と全国的にも有数の規模となっております。

**第210回 国有林土場活用委託販売市売ご案内**

◎入札日 平成30年5月15日(火) ◎入札締切 午前10時30分  
◎入札会場 木曽官材市売協同組合2階大会議室

※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです

材種	署名	樹種	見込数量	主要銘柄等
素材	木曽森林管理署	木曽ヒノキ	159m <sup>3</sup>	尺上・B材(30m <sup>3</sup> ) 特木(100m <sup>3</sup> ) 特A(29m <sup>3</sup> )
		ヒノキ (内 ㊦木曽ひのき)	1,384m <sup>3</sup> (1,080m <sup>3</sup> )	並柱(112m <sup>3</sup> ) 3m 曲(404m <sup>3</sup> ) 3m24上(110m <sup>3</sup> ) 2m 材(58m <sup>3</sup> ) 4m土台(22m <sup>3</sup> ) 4m 直(144m <sup>3</sup> ) 4m 曲(520m <sup>3</sup> ) 4mヒ尺(14m <sup>3</sup> )
	(南木曽支署を含む)	天然サワラ	42m <sup>3</sup>	特木(20m <sup>3</sup> ) B材(20m <sup>3</sup> ) 尺上(2m <sup>3</sup> )
		その他N-L	524m <sup>3</sup>	特木ヒノキ(228m <sup>3</sup> ) N特木(228m <sup>3</sup> ) 入サワラ(8m <sup>3</sup> ) カラマツ(60m <sup>3</sup> )
計		121種	2,109m <sup>3</sup>	

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。

※素材の物件所在地は、木曽森林管理署・南木曽支署の各土場又は、山元です。

**木曽官材市売協同組合**

〒399-5604長野県木曽郡上松町正島町2-45  
tel (0264) 52-2480 (代) fax (0264) 52-1155 (フリーポリング)  
ホームページ <http://www.kisokan.com/> 入札物件詳細・入札物件結果 掲載

# 長野県の木材市況

平成三十年五月十日発行 長野の林業通巻三〇四号

発行 長野の林業編集委員会  
事務局 長野市岡田町長野県林業センター内  
(一社)長野県林業普及協会  
(一社)長野県林業センター

電話〇二六(二二七)五〇一五 Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp  
電話〇二六(二二六)五六二〇 Eメール rinfukyoo@giga.ocn.ne.jp

## 第1005回 市況表

(平成30年4月17日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター

TEL0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m <sup>3</sup> )	中値 (円/m <sup>3</sup> )	気配	備考	
ひのき	2.0	直	30上	20,000	6,000	△		
		3.0	直	14~16	13,600	10,000	△	直造材でお願いします。
			直	18~22	15,000	13,500	△	
	4.0	直	30上	21,600	15,000	△		
		元	40上	40,000		○	元玉、太物に高値。	
		直	14~16	14,300	8,000	○	並材φ14cm~φ24cmの直材に需要あり。出品願います。	
すざぎ	3.0	直	24~28	16,000	13,000	○		
		直	18~22	11,000	5,000	○	3m, 4mとも直造材でお願いします。価格横ばい。	
	4.0	直	24~28	12,000	8,000	○		
もみ	4.0	直	30上	13,000	8,000	-	安定的な需要あり。	
	4.0	直	26上	10,000	8,000	-		
さくら	2.0	直	30上	20,300		○		
	4.0	直	36	43,300		○	広葉樹、需要あり。出品願います。	
なら	4.0	直	14~16	10,000	8,500	○		
	4.0	直	18上	13,000	8,500	○		
くり	4.0	直	18~22	25,300	8,000	○		
	5.0	直	30上	35,000		○		
まあつが	4.0	直	18~28	7,000	6,000	△	需要期終了。伐採される方はご相談下さい。	
		直	30上	10,000	8,000	△		
まがつか	4.0	直	18	13,000	10,000	○		
		直	20上	13,000	10,000	○		

出品量 1,218m<sup>3</sup> 販売量 1,213m<sup>3</sup> 落札率 99% 買い方 28社

今回の市売りでは、ひのき、杉に関して地元のお客様に引き合いがあり活潑な市売りとなりました。広葉樹(さくら)は高値がつく傾向です。樹種問わず出品にご協力をお願いいたします。

尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。  
(\*安全のため荷下ろし、積み込みの際には車止めの使用をよろしくお願いします。)

## 第1007回 市況表

(平成30年4月16日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m <sup>3</sup> )	中値 (円/m <sup>3</sup> )	気配	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	-	3.0m×14~18cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	30~48	13,000	10,000	-	
	4.0~6.0	元	34~46	30,000	12,000	-	
ひのき	3.0	直	20上	-	13,000	-	材不足しています
		直	20~28	18,000	14,000	-	材不足しています
	4.0~6.0	元	30~50	45,000	20,000	-	段横しい。
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	-	材不足しています
		直	14~18	13,000	10,000	-	細物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		曲	20上	15,000	12,000	-	
あかまつ	4.0	込	14~18	6,000	5,000	-	
		曲	20~40	13,000	7,000	-	
	6.0~9.0	直	18~24	12,000	6,000	-	需要期過ぎ価格低迷。
くり	2.0~6.0	込	16~44	77,000	18,000	○	優良材の集荷が出来、高値がつきました。
さくら	2.0~4.0	込	18~40	39,000	15,000	○	今後も需要見込めますのでご出品下さい。
くろみ	2.0~4.4	込	20~40	181,000	40,000	○	
けんげ	1.8		42	71,000		○	
やわぎ	4.0~7.0	込	18~80	399,000	200,000	○	

出品量 5,567m<sup>3</sup> 販売量 4,743m<sup>3</sup> 落札率 85% 買い方 37社

今回も広葉樹中心の市売りとなり、特にクルミ・さくらに高値がつきました。今後も需要が見込めると考えられますので、ご出品お願いいたします。又、4月の人事異動により牛島係長が本会指導部へ、林技師が中信センターに配属となりました。新体制にて新年度をスタートいたします。皆様のご指導よろしくお願いたします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

## 第1039回 市況表

(平成30年4月18日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

〇 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/m <sup>3</sup> )	中値 (円/m <sup>3</sup> )	気配	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000		柱材需要あり、直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	10,000		直造材でお願いします。
		込	8~13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。
	4.0	直	14~20	12,500	9,500		出品願います。
		直	22~28	14,000	11,000		出品願います。
		曲	30上	18,000	11,000		直造材で出品願います。
かままつ	3.0	直	14~18	11,000	8,000		伐採前にご相談ください。
		直	6~13	11,000	6,000		細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000		直造材でお願いします。
	4.0	直	20上	20,000	13,500		需要あり、直造材を心がけて下さい。
		曲	14~18	6,000	5,000		出品願います。
		曲	20上	14,000	13,000		需要あり、積極的に出品願います。
信州Pからまつ	4.0	直	34	23,600			需要あり。事前にご相談ください。
	4.0	直	36	25,200			
ひのき	4.0	直	16~18	17,000	13,000		
		直	20~28	16,000	14,000		
		直	30上	20,000	15,000		
くろみ	4.2		34	50,000			
かえて	2.8		52	88,000			
くり	4.0		32	37,000			
くろが	3.4		24	32,000			
	0.6		30	52,000			一本単価

出品量 6,290m<sup>3</sup> 販売量 6,242m<sup>3</sup> 買い方 51社

今回は、春の陽気の中、多くの方にご来場いただき大変やかな市売りとなりました。市況としまして、からまつについては高値で安定しており、今後もこの価格は続く見込みとなっております。スギについては、価格は横ばい傾向でした。なお、現在どちらも需要が増加しておりますが、材が不足しておりますので、引き続き出材にご協力をお願いいたします。また、広葉樹については、伐期を過ぎたこともあり、冬場より大幅に価格が下がりました。今後は、価格が伸びにくくなりますので、伐採を極力控えるようお願いいたします。もしも伐採される場合には、事前のご相談をお願いします。  
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」)コメントを記載した内容の) 納品書の提出をお願いします。

## 第498回 木材共販市況表

(平成30年4月19日実施)

JForest

出品量 2,500m<sup>3</sup>・買い方 15社・落札率 90.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	末口 (cm)	高値 円	平均値 円	平均石値 円	備考	
ひのき	2.0	直	24~48	15,000	10,000	2,800	
		直	14	12,000	8,000	2,240	
	3.0	直	16	13,000	11,000	3,080	
すざぎ	4.0	込	18~24	23,000	17,500	4,900	
		込	26~28	17,500	16,500	4,620	
		込	30上	25,000	20,000	5,600	
	4.0	中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	18,500	15,000	4,200	
からまつ	4.0	元直	16~22	23,000	17,500	4,900	
		元	24~28	28,000	18,000	5,040	
	30上	35,000	30,000	8,400			
すざぎ	4.0	中直	12~14	12,000	8,000	2,240	
		込	16~22	17,500	15,000	4,200	
		込	24~28	17,500	14,500	4,060	
	4.0	込	12下	360	300		一本売り
		込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20~22	10,500	9,500	2,660	
かままつ	3.0	直	24~28	11,500	9,500	2,660	
		直	30上	16,500	11,500	3,220	
		直	18~22	10,000	8,000	2,240	
からまつ	4.0	込	14~22	7,500	5,500	1,540	
		込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
	4.0	込	18~28	13,000	10,500	2,940	
		直	30上	13,500	11,500	3,220	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
くり	4.0	直	12下	320	270		一本売り
くり	4.0	直	18~26	25,000	15,000	4,200	
まあつが	4.0	直	20~28	6,000	5,000	1,400	
		直	30~	12,500	8,500	2,380	

総評  
出荷樹種に偏りあり。ひのき、引き続き出荷やや少なく、並材中心価格伸びず。すざぎ、引き続き出荷量が多いものの、買い方弱く価格やや落ちる。あかまつ、ひめこまつは、出荷あるも時期的に価格伸びず。からまつ引き合いあり、価格は横ばい、出材やや伸びる。出荷協力いただきありがとうございました。